

平成30年度

事業計画書

自 平成30年4月 1日
至 平成31年3月31日

公益財団法人 東大阪市文化振興協会

公益財団法人 東大阪市文化振興協会
平成30年度事業計画

平成30年度公益財団法人東大阪市文化振興協会の事業計画は、次に定めるとおりとする。

1. 公益目的事業

地域文化芸術の振興並びに児童文化の育成を図る事業

市の文化施設を活かした様々な事業の企画及び実施により、市民が文化芸術等に対する理解と親しみを深めていただき、合わせて事業に積極的に参加できる環境づくりの推進を図り、市民の文化芸術スポーツ活動をより活発化させることで、潤いのある豊かな地域社会の実現を図ることを目的とします。

事業内容

(1) 文化芸術の振興を図るための催し物、講座及び展示等の実施に関する事業

東大阪市民美術センター

市民に親しまれる文化振興の活動拠点として、内外の優れた芸術作品を紹介する特別展示の開催や、市内の文化団体や各種グループの文化活動の成果・作品を発表する場として、あるいは茶室を利用したお茶会に利用していただけます。

また、市民の創作活動のてがかりを提供する各種講座や美術講演会の開講など、市民の文化芸術の推進を図ります。

◇主な事業

① 特別展示

- (仮称)「陶と花のマリアージュ ―花博工芸館出品作品と生け花―

(5月18日～6月10日)

大阪府所蔵の陶磁器作品(花器)と東大阪市茶花道協会によって選出された会員による、陶芸と生け花の相乗効果をねらった展示会です。

- (仮称)「宮脇綾子アプリケの世界」展 (H31年2月3日～3月3日)

戦後まもなく、使い古された布や小切れを素材に、野菜、魚、草花を色彩豊かな感性で制作したパッチワーク作家宮脇綾子さん。今も古さを感じさせず多くの方から愛されています。

また、専門職員及び監修者による作品解説なども予定しています。

② 企画展

○出張美術展（7月17日～30日）

市民美術センターの改修工事に伴い、昨年に引き続き東大阪市役所本庁舎1階多目的ホールで、市民美術センターコレクションより作品の展示開催をします。また、当センター学芸員による作品解説なども予定しています。

○第3回若手アーティスト支援事業（11月20日～12月2日 期間中2週間）

若手アーティストの創作活動を支援するため、発表の場や機会を提供し、育成に取り組めます。

公募形式による開催を予定しています。

○（仮称）「須田剋太 一街道シリーズ ミニ展」（11月20日～H31年1月6日）

第3展示室を利用して開催します。

専門職員及び監修者による作品解説なども予定しています。

○第18回「そうさく展」（12月4日～16日）

過去に「創作講座」を受講し、活動を続けておられる修了生を対象に、水彩画・油彩画・パステル画等の作品展です。

○子どもラグビー絵画公募展（12月19日～H31年1月6日）

2019年のラグビーワールドカップ開催推進活動を広めるとともに、「ラグビーのまち東大阪」を担う子どもたちに、ラグビーをもっと知っていただき、関心をもつていただくため、絵画を公募し展示します。

○常設展示場（1階）

・出張美術展の予告展示（3月8日～5月13日）

・特別展「陶と花のマリアージュ展」期間中（5月15日～6月24日）

大阪府所蔵 現代屏風 約8点

・立体作品「清水九兵衛 アルミ小作品 5～6点」（9月4日～10月21日）

・若手支援事業作家（第2回選出作家）の展示（10月23日～12月2日）

③ 第6回「ナイトミュージアム」（12月2日）

うるおいや安らぎを感じながら、質の高い文化芸術にふれる機会を提供するため、市民美術センターを夜間も開館しライトアップします。

いつもとは異なる市民美術センターを演出します。

④ 創作講座等

○創作講座の開催と「夢をかたちに展」の開催 (60期～62期)

受講生を募集し「はじめての水彩画教室」「はじめての油絵教室」「はじめてのデッサン教室」「はじめてのパステル画教室」「はじめての鉛筆デッサン教室」を開催します。

それぞれの講座終了後、受講者の作品発表の場として「夢をかたちに展」を開催します。

○子どもを対象とした市民講座として「親子油絵教室」を開催します。

本格的な画材、油絵具を使った絵画制作に挑戦。親子でお互いの「顔」をキャンバスに描きます。(2日間)

⑤ ひるさがりロビーコンサート

団体の展示会中に月1回(土日等)程度の開催を目標として、各種楽器演奏やコーラスなどを開催します。

⑥ ボランティア活動の受け入れ

特別展などの会期中に、展示室内の監視・受付をはじめ、1年を通じてセンター周辺及び庭園等の清掃・灌水活動の協力を受け入れます。

文化振興協会本部が行う事業

◇主な事業

- ① オーケストラコンサート「関西フィルハーモニー管弦楽団」(9月)
- ② ひがしおおさか狂言会(10月)

(2) 科学、文化教室、演劇、演奏会及びスポーツ活動等を通じて、児童文化の育成を図る事業

東大阪市立児童文化スポーツセンター

子どもたちが楽しみながら科学・文化・スポーツについて知識や技能を身につけるとともに、自発的に参加・体験、相互交流する中で、学習意欲の向上、健全な人間関係が構築されるなど、より広い視野で育ち豊かな感性を育めるような各種教室・事業を展開します。

◇主な事業

① プラネタリウム

「通年：平日4回、日祝5回投影」

季節ごとにテーマを変え、子どもたちが宇宙や星に関心をもてるような番組や学校園等団体向けの各学年に応じた学習番組を企画し投影します。

② 常設（科学）展示室

「通年展示」

宇宙と人間を基本テーマとし、宇宙・地球・人間・科学のふしぎについて、展示物を通じて子どもたちが楽しく体験しながら学習できるコーナーです。

③ スポーツホール

「通年：1日5回入れ替え制」

子どもが、安全に思い切って体を動かせるよう床全面にソフトマットを敷き、大型遊具や一輪車等、子どもたちがいろんな遊具を使って「遊び」を創り出し、飛び跳ねたり、転がったり、運動の楽しさと喜びを味わう運動広場で、安全面・衛生面でも質の高いサービスを提供していきます。

④ 多目的文化ホール

団体または個人に条例に基づいて施設を利用していただきます。

日頃学校園では鑑賞する機会の少ない優れた児童演劇や音楽・映画の鑑賞、活動成果の発表、文化活動を続けている子どもたちの発表の場を提供します。

また、様々な文化に触れることで感性豊かな人間の育成を図り、表現力を高めます。

⑤ 教育普及事業および自主事業

○「星空（天文）教室」

プラネタリウムでの星空観察を中心に、天体観測実習、野外観察やプラネタリウムを使った実習や工作なども交えた教室です。

- 「星をみる会」
夜に屋外にて天体望遠鏡を使って天体観望をします。
- 「星空たんけん隊」(8月 12月)
光害の影響がなく満点の星が見れる宿泊施設にて行う天体観察会です。
- 「生物教室」
野外観察や顕微鏡を使った実習などを交えた継続的な教室です。
- 「ものづくり教室」
親子陶芸、七夕かざりなど、手作りの楽しさを体験してもらう教室です。
- 「ハンドベル教室」
ハンドベルの演奏習得、合奏の楽しさを味わう教室です。
- 「バイオリン教室」
バイオリンの演奏習得、合奏の楽しさを味わう教室です。
- 「書道教室」
楽しみながら習字を経験し技術を高める教室です。
- 「児童文化スポーツセンター児童劇団(フラップトリップ)」
小学生から高校生までの劇団で演劇を通して、自立した個人として成長することを中心とした活動を行ないます。
- 「児童文化スポーツセンター管弦楽団(チェルボ)」
社会人の管弦楽団で中高生の研究生を募集しています。また、秋と春には定期演奏会を開催しています。
- 「バレエ教室」
クラシックバレエを楽しみながら経験し技術を高める教室です。
- 「幼児教室(わいわいキッズ)」
就学前の子どもと保護者が楽しみながら心と体の触れ合う教室です。
- 「英会話教室」
幼児向けのリトミッククラスや、児童英検受験を目標としたクラスと、親が常に英語を取り入れた接し方等を学ぶクラスがあります。
- 「なわとびあそぼう!教室」
なわとびを通して身体の使い方やリズムの取り方を学び、体を動かすことを楽しむ教室です。
- 「子どもの日ゆめ劇場」(5月3・4日)
バルーンアート・音楽会の公演です。
- 「子ども映画サロン」(7月28・29日 以後未定)
年3回程度、子ども向けの楽しい映画の鑑賞会です。

- 「子ども文化劇場」
日ごろ触れる機会の少ない舞台公演です。
- 「演劇団体鑑賞会」(11月)
学校園での開催がしにくくなった児童演劇などの鑑賞会です。
- 「プラネタリウムドームコンサート」(5月6日 夏・冬開催)
プラネタリウムドームでのコンサートを開催します。
- 「ロビーイベント」
1階ロビーでの個展、コンサート、お茶会等を開催します。
- 「夏休み工作教室」
夏休みの宿題にも役立つ自由で楽しいイベントです。
- 「夏休み一輪車教室」
一輪車の正しい乗り方など、基礎から楽しみながら技術を高める教室です。
- 「夏休み逆上がり教室」
基礎から楽しみながら逆上がりの技術を高め克服する教室です。
- 「夏休み特別展」(8月5日～19日)
毎年テーマを決めて、夏休み期間中に実施しています。
- 「子どもお祭り広場」
日本の文化や風俗を体験できて家族で楽しめる「ふれあいの場」です。
- 「クリスマス発表会」(12月16日)
ハンドベル、バイオリン教室、児童劇団フラップトリップに参加した子ども達の発表会です。
- 「教室発表会」(H31年3月)
各種教室に参加した子どもたちの集大成としての発表会です。
- 「子ども文化祭」
文化活動の取り組みをしている子どもたちのグループに、発表の場を提供します。
- 「世界のクワガタ・カブトムシが大集合」(8月26日)
世界のクワガタ・カブトムシの展示、頒布をします。
- 「模擬店イベント」
恒常的な集客力の向上と利用者及び地域住民へのサービスの向上を目指します。
 - ・五月まつり 5月5日
 - ・朝顔まつり 7月21日
 - ・ススキまつり 9月24日
- 「伝統文化事業」
獅子舞・お茶会・箏曲などの伝統的な文化にふれる事業です。
 - ・獅子舞 H31年1月
 - ・箏曲演奏会 H31年1月

⑥ 連携

○「市や他施設との連携」

市や民間企業、他施設と連携し、さまざまな共催事業を企画し実施します。

○「地域との連携」

英田中学校区地域教育協議会との連携の推進、また地元商店街との連携を図ります。

○「子ども会との連携」

東大阪市子ども会育成連絡協議会との連携を図ります。

○「消費生活体験教室」

工作体験を通じて、自然エネルギーや地球環境問題について学びます。

○「大学との連携」

近畿大学・大阪樟蔭女子大学・大阪商業大学・大阪芸術大学等との連携を図ります。

○「大学生プラネタリウム」

大阪教育大学・近畿大学・神戸大学・大阪大学・立命館大学の天文サークル等の学生が投影の練習を行うことで、プラネタリウムの普及啓発・産学連携・後継者育成を目指します。

⑦ その他

○「研修」

館内外において職員や教員等の研修を実施しており、全国プラネタリウム連絡協議会や大阪プラネタリウム連絡協議会等へも参加します。

○「職業体験学習等の受け入れ」

学校園からの依頼により職業体験・仕事の聞き取り学習等の受け入れを行ないません。

○「プラネタリウム番組制作」

東大阪市の偉人を題材に、オリジナルの番組を制作します。

(3) 郷土の文化遺産に関する資料収集と保存及び公開普及を図る事業

東大阪市立郷土博物館

東大阪地域の歴史・文化財の調査・研究並びに考古・民俗その他の各種資料の収集・保存・管理を行うとともに、各種資料を基に展示事業・講座を開催し、四季に応じた昔の暮らしをテーマとした体験学習や春・秋の史跡ハイキング等の企画を通じて、市民が郷土文化や歴史に関する学習を深め理解し、郷土を愛する豊かな心を育めるよう普及啓発事業を図ります。

◇主な事業

① 展示

○常設展示「かわちのくに」展 (4月1日～H31年3月31日)

これまでの発掘調査や市民からの寄贈資料を通して、市内に人々が暮らし始めた約2万年前から昭和時代までの郷土の歩みを時代順に振り返ります。歴史的内容であることから、小学6年生の社会科や総合学習との連携を図ります。

- * 4月7日 展示解説1「東大阪のあけぼの」(旧石器時代)
- * 7月7日 展示解説2「東大阪のあけぼの」(縄文時代)
- * 8月4日 展示解説3「東大阪のあけぼの」(弥生時代)
- * 9月1日 展示解説4「東大阪のあけぼの」(古墳時代)
- * 10月6日 展示解説5「東大阪のあけぼの」(奈良・平安時代)
- * 12月1日 展示解説6「東大阪のあけぼの」(鎌倉・室町時代)
- * H31年2月2日 展示解説7「東大阪のあけぼの」(江戸時代)
- * H31年3月2日 展示解説8「東大阪のあけぼの」(明治時代以降)

○春季企画展示「ものづくりのまち東大阪ー米づくりのあゆみ」展

(4月11日～9月2日)

常設展示と並行して市域をとりあげた展示。本年度はものづくりのまち東大阪の米づくりのあゆみを振り返ってみます。

- * 5月5日 展示解説「米づくりのはじまり」

○夏季企画展示「七夕と地蔵盆」展 (6月5日～9月2日)

博物館に収蔵されている資料のなかから東大阪の年中行事である七夕と地蔵盆の関連資料の展示をします。

- * 6月9日 展示解説「東大阪の地蔵盆」

○特別展示「海の幸 山の幸」展 (9月13日～12月2日)

担当学芸員が調査・確認した成果を市民に公開します。平成30年度は、自然を活用した人々のライフスタイルを通して郷土の歴史について、より深く理解していただきます。

*10月13日 展示解説「海の幸 山の幸」

○冬季企画展示「昭和の東大阪と観光」展 (12月13日～H31年3月3日)

昭和時代の東大阪のくらしを市民から寄贈された民具類を通して、振り返ります。

小学校3年生の学習内容に沿った展示で、小学校との連携を図ります。また、実物の民具に触れ、使用体験ができるコーナーを併設します。

*H31年1月12日 展示解説 仮題「東大阪の名所案内」

○春季企画展示「ものづくりのまちーすまいづくり」展

(H31年3月14日～31日)

常設展示と並行して市域をとりあげた展示。東大阪でのすまいづくりの様子を紹介しします。

② 体験学習等

○「いなだもも」の苗木無料配布 (5月3日)

いなだももは、江戸時代に河内地域で盛んに栽培され、全国的に知られていました。いなだももの苗木の無料配布を通して、郷土の歴史について理解を深めていただきます。

○春の体験イベント「染めものと昔あそび」(5月6日)

博物館周辺にある自然素材を使って染めものに挑戦するとともに、昔あそびを体験していただきます。

○夏休み親子手作り教室「灯籠と地蔵をつくろう」(7月22日)

竹・粘土・貝殻を使って灯籠や地蔵をつくります。作品の一部は、夏休み期間中ロビーで展示します。

○夏休み親子体験イベント「卑弥呼や古代人に変身」(7月29日)

盾や剣の作成や石の勾玉づくりに挑戦し、卑弥呼や古代豪族の衣装に着替えて変身します。

○「カブトムシ」の無料配布 (8月3日)

博物館周辺の自然と歴史にふれ、郷土への理解を深めていただきます。入館者に1人1匹のカブトムシを無料配布します。

○夏休み自然素材を使って遊び道具を作ろう。(8月5日)

竹や木を使って水鉄砲・笹舟・けん玉などを手づくりします。

○夏休み考古学者教室「君も今日から考古学者」 (8月19日)

本物の土器・石器にふれてみます。土器の文様を写し取り、文様を復元します。
クイズ大会や玉づくりにも挑戦します。

○秋の体験イベント「自然素材を使った親子ものづくり」(11月25日)

博物館周辺にある秋の自然素材を使って、動物やクリスマスツリー・リースづくりをします。

○年末の体験イベント「干支の置物とミニ門松づくり」(12月23日)

秋に取れた稲わら、松ぼっくりや粘土を使って、干支の置物やミニチュア門松をつくり、昔の年末行事の一端にふれていただきます。

○冬の体験イベント「節分を楽しむ」(H31年1月20日)

張り子の鬼の面づくりを通して、年中行事を楽しんでいただきます。

○冬の体験イベント「わらぼうりをつくろう」(H31年2月10日・17日)

わらぼうりづくりを通して、郷土の昔の暮らしを知っていただきます。企画展示に伴う体験イベント。

○綿くり体験と綿の栽培に挑戦 (H31年3月14日)

綿は、江戸時代に河内地域で盛んに栽培され、「河内木綿」として全国的に知られる製品となっていました。秋に収穫した実綿から綿くり機によって種を取り出すとともに、その種をそれぞれ持ち帰り栽培してもらいます。

○春休み考古学者教室「君も今日から考古学者」 (H31年3月24日)

古墳探検や本物の土器・石器にふれてみます。土器の文様を写し取り、文様を復元します。クイズ大会や玉づくりにも挑戦します。

○ジグソーパズルの作成

東大阪市域の遺跡から出土した考古資料を用いたジグソーパズルが好評を得ており、新たに縄文土器のジグソーパズルを作成し、大人から子どもまでゲーム感覚で資料に親しめるよう工夫し、資料に対する理解を深めていただきます。

ジグソーパズルは、希望者に有償で頒布するとともに、市内の小・中学校や関連施設に無料配布し、郷土の文化遺産の普及・啓発を図ります。

③ 史跡ハイキングなど

○古墳の定期見学会7 ～客坊山古墳群～ (4月29日)

博物館周辺にある古墳の定期見学会で、客坊山古墳群を訪ねたのちに博物館で出土品を見学します。(入館無料)

○春の史跡ハイキング「上町台地を歩く―森ノ宮周辺の史跡を訪ねる―」

(5月20日)

森ノ宮周辺の史跡を訪ねます。参加者に記念品(綿の種)を進呈。

○古墳の定期見学会8 ～新石切駅周辺の古墳～ (10月14日)

新石切駅周辺にある古墳の定期見学会です。

○秋の史跡ハイキング「市内の縄文・弥生遺跡を訪ねる」(11月4日)

市内にある縄文・弥生時代の遺跡を訪ねた後に、博物館の特別展を観覧します。

④ 講演会・講座など

○春季企画展示に伴う講演会「収穫具のあゆみ」 (5月13日)

市民を対象に、企画展示の内容に沿った講演を聴講したうえで展示資料を観覧していただきます。(「国際博物館の日」参加のため入館無料)

講師：郷土博物館学芸員 中西 克宏

○夏季企画展示に伴う講演会「博物館周辺の地蔵尊」 (7月1日)

市民を対象に、企画展示の内容に沿った講演を聴講したうえで展示資料を観覧していただきます。

講師：郷土博物館学芸員 金村 浩一

○冬季企画展示に伴う講演会 仮題「石切の娯楽施設」 (H31年1月27日)

市民を対象に、企画展示の内容に沿った講演を聴講したうえで展示資料を観覧していただきます。

講師：未定

○特別展示に伴う講演会

市民を対象に、特別展示の内容に沿った講演を聴講したうえで、展示資料を観覧します。(「関西文化の日」参加のため入館無料)

・11月17日

講演：(仮題)「河内湾の生き物と縄文人の暮らし」

講師：東海大学海洋学部海洋文明学科 丸山 真史氏

・11月18日

講演：(仮題)「生駒山の山仕事」

講師：八尾市立歴史民俗資料館 岡田 清一氏

○土曜講座 「ものづくりと流通」

市民を対象に博物館学芸員による郷土の歴史を様々な観点から学ぶ学習会です。

今年度は「ものづくりと流通」を統一テーマとして検討します。

・第1回「ものづくりと水害とのたたかい」(9月15日)

・第2回「生産基盤を守る一堤防のあゆみ」(9月22日)

・第3回「生駒山西麓産の土製移動式竈と羽釜の生産と流通」(9月29日)

○出前講座 「歴史講演会」

郷土博物館学芸員が地域に向いて講演をします。いずれも開催日、演題未定。

- * 「東大阪市社会福祉協議会」主催（年3回予定）
- * 「日下リージョンセンター企画運営委員会」主催（年3回予定）
- * 「四条リージョンセンター企画運営委員会」主催（年1回予定）
- * 「梶無神社」主催（年6回予定）
- * 「下六万寺老人会」主催（年2回予定）

⑤ その他

○博物館実習生の受け入れ

東大阪市周辺にある大学からの依頼に基づき、学芸員資格取得を志す学生に対して実習の機会を提供し、将来的な博物館活動の発展を図ります。

○職業体験、仕事の聞き取り学習の受け入れ

小・中学校の「総合的な学習の取り組み」に連携して、市内小中学校からの依頼により実施します。

○博物館の資料閲覧申請及び資料貸出申請事務

実物資料や写真資料などの申請者への閲覧業務及び貸出業務。

- ・ 博物館、資料館等の公共機関からの申請
- ・ 教科書の掲載出版社からの申請
- ・ その他の機関からの申請

○団体見学時における資料解説

○出前教室等の講師依頼による講師派遣等の対応

○教育委員会（文化財課）が主催する資料展示会等への協力等

東大阪市立埋蔵文化財センター

市内の遺跡や古墳から出土した土器や石器などの調査・整理・保存・展示に加え、「古代の生活を体験しよう!!」をキャッチフレーズに自ら体験学習をする機能を有した施設であり、老若男女を問わずどなたでも気軽に「見て、触れて、そして作る。」を目的としています。

また、歴史を学ぶ講演会（東大阪市文化財課主催）や土曜講座（郷土博物館主催）など、市の文化財保護行政と連携協力を図りながら市民文化の向上に努めています。

◇主な事業

① 収蔵品展示

- 「C・D地域の大むかしの人々の暮らし」（4月1日～11月4日）

東大阪市の中央部分の遺跡からみつかった埋蔵文化財を取り上げ、昔の人々の暮らしを紹介します。

※C・D地域とは、市の行政単位の地域をさします。

- 「縄文の美」（11月10日～H31年11月4日）

東大阪の縄文時代の遺跡を紹介します。

② センター内の部屋の借り受け

- 土曜講座（視聴覚室） 郷土博物館主催

市民を対象に博物館学芸員による郷土の歴史を様々な観点から学ぶ学習会です。

今年度は「ものづくりと流通」を統一テーマとして3回の講座に分けて紹介します。

9月15日 「ものづくりと水害とのたたかい」（講師：学芸員 山中信人）

9月22日 「生産基盤を守る 一堤防のあゆみー」（講師：学芸員 金村浩一）

9月29日 「生駒山西麓産の土製移動式竈と羽釜の生産と流通」（講師：学芸員 中西克宏）

- 古文書講座「中級編」（学習室） 鴻池新田会所主催

多種多様な古文書を読みこなします。（「初級編」受講済みの方に限る）

全22回×金曜日・土曜日コース 定員：各コース18名

③ 受け入れ図書等の登録業務を行ないます。

④ その他、教育委員会主催事業等への協力を行ないます。

- 体験学習、歴史講演会、春休みや夏休みのイベント事業等。

- 日本の年中行事を題にした期間限定のオリジナル勾玉（滑石）づくり。

鴻池新田会所

会所の歴史の調査・研究並びに民具や会所に関する資料収集・保存・管理を行うとともに、会所の建物群、庭園の公開並びに新田開発に関する資料と民具の展示等に加えて会所を活かしたさまざまな事業（座敷や庭園での茶会の開催、歴史に関する講習会、コンサート、体験学習、地域との連携等）を通じて、市民が郷土文化や歴史に関する学習を深め広く理解してもらえよう普及啓発事業を図ります。

◇主な事業

① 展示

○オープンエアミュージアム事業

国史跡・重要文化財に指定されている建造物や民具を一般公開。会所の役割や歴史的背景の学習の場を提供します。

○コーナー展示

「菖蒲の節句」(4月28日～5月6日)

会所に遺されている節句の飾りを展示します。

○蔵出し展示

「鴻池新田会所の薬箱」(6月16日～7月16日)

会所に遺された江戸末期から明治時代の漢方薬などを展示します。

○コーナー展示

「七夕」展(6月30日～7月8日)

会所に遺されている七夕飾りを展示します。

○鴻池家寄贈民具展「むかしの道具いろいろ」(H31年1月8日～2月28日)

江戸時代の終わり頃から昭和時代までに会所と鴻池家で使われた道具を展示します。

② 体験学習等

○「木工のたくみ」(7月21日)

小刀や鉋(かんな)の使い方、木のクセを学びながら箸を作ります。

講師：川端 徹氏(家具職人)

○「藍染チャレンジ」(8月25日)

摘み取り藍の生葉から染め液を作り、ハンカチやTシャツをインディゴカラーに染めます。

○「綿くり、綿うち、糸つむぎ」(11月17日・18日)(関西文化の日参加のため入館無料)

会所で収穫した綿を使い、糸ができるまでの仕事を体験します。

○「正月かざり」(12月8日)
ペーパーラフィアや会所で採れた自然粗材を利用して「ミニ門松」「しめ縄」を作ります。

○迎春～日本の伝統行事の体験～

・「しめ縄づくり」(12月8日)

お正月を前に農家で作られ売られていた「しめ縄」の作り方を学びます。

指導：関谷 廣氏

・「もちつき」(12月16日)

会所のかまどで餅米を蒸し、杵・石臼を使って昔ながらの「もちつき」をします。

③ 史跡ハイキング・講演会・講座

○史跡ハイキング1「旧大和川をたどる⑥」(4月22日)

大和川の付け替えで大変迷惑をした大和川対岸の村々をたどり、付け替えに伴う旧跡を訪ねます。

○史跡ハイキング2「伎人郷(くれひとのさと)・喜連村を探索する」(4月28日)

加美駅～鞍作～喜連環濠都市～平野環濠～平野駅を巡る行程です。約10km

○史跡ハイキング3「未定」(9月30日)

○史跡ハイキング4「未定」(10月21日)

○近世史講座(5月24日～6月21日 全5回)

稲田村、長田村、吉田村、橋本新田、菱屋東新田を取上げ、江戸時代の暮らしについて考えます。

○歴史講座①「伊賀上野地震と鴻池新田会所」(5月27日)

安静南海地震の約半年前に起こった伊賀上野地震における鴻池新田会所の被害について

講師：鴻池新田会所 松田 順一郎

○歴史講座②「深野池の新田開発」(6月3日)

鴻池新田が造成された新開池とともに、その寝屋川上流側にあたる広大な深野池でもさかんに新田が開発されました。

その沿革をたどり、平野屋新田会所跡などの会所跡を紹介します。

講師：大東市教育委員会生涯学習課 佐々木 拓哉氏

○歴史講座③「未定」(10月13日)

○歴史講座④「未定」(10月27日)

○超入門「植木剪定講座」(11月27日～29日)

植木の剪定方法を学びます。

○古文書講座

[入門編] 河内屋南新田・深野南新田の古文書をテキストに、くずし字解読の基礎を学びます。

9月27日～10月25日 全5回

[初級編] 江戸時代の刊本をテキストに、かな文字の解読を習得します。(入門編受講済みの方に限る)

11月1日～29日 全5回

④ 地域連携事業の拡充

○近隣自治会、住民との連携事業の拡充

周濠の清掃事業等、近隣自治会及び住民と共同事業を実施していますが、より連携を深め、会所への理解を深めていただくことを目的として連携事業を拡充します。

鴻池ジャズや落語会のように近隣住民が主催する行事について、場所の提供や職員による協力を行っていますが、近隣自治会等が実施する餅つき等の行事にも場所の提供や職員による協力を行っていきます。また、会所が催す各種の行事にも近隣自治会に参加を要請し、教育委員会の承認を得て招聘を行います。

・ 招聘を実施する自治会

鴻池元町自治会 鴻池本町自治会 鴻池新町自治会

○子どもたちやファミリー層への働きかけ

会所への入館者は、60才以上の高齢者や40才以上の壮年層が多数を占め、若年層やファミリー層の入館者が少なく、子どもたちも団体入館者を除けば少数であることから、まず、近隣の子どもたちを会所に足を向けさせる取り組みを実施します。

従来より実施している取り組み「もちつき」「しめ縄づくり」「綿くり、綿うち、糸つむぎ」のほか、27年度から子どもゆめ基金の支援を得て実施した「木工のたくみ」と題した箸づくりを恒常化し、夏休みを中心とした日程で実施するとともに、鴻池元町自治会、鴻池本町自治会、鴻池新町自治会の各子ども会に参加を呼びかけていきます。

○府下現存3会所との共同事業

安中会所、加賀屋会所とともに共同で実施する事業として、絵はがきの作成をします。(配布方法：スタンプラリー達成者に配布)

⑤ その他

○河内木綿継承事業

江戸時代に河内地方の主要産物であった河内木綿を、会所敷地内で栽培収穫し、新田開発と木綿生産が密接な関係であったことを啓発し、種子と苗木を無料配布します。

4月1日～ 種子の無料配布

6月1日～ 苗木の無料配布

○コスプレフェスタ（4月15日・5月6日・6月10日）

（10月7日・11月11日・12月9日）

コスプレ無料体験コーナー有ります。 共催：COSJOY（コスジョイ）

○野点

江戸時代を代表する地泉回遊式庭園でお茶を嗜んでいただきます。（5月3日）

お点前は、東大阪茶花道協会の皆さまです。

○鴻池ジャズストリート（5月12日・13日）

歴史や新しい魅力の詰まった鴻池地域で、会所をメイン会場にジャズのライブ演奏会です。

東大阪・鴻池ジャズ実行委員会との共催事業。 ふれあい祭りと同時開催。

○蓄音機コンサート（5月20日）

珍しい蓄音機によるSPレコード鑑賞会です。

○鴻池新田会所寄席（11月3日）

素人寄席「天満天神の会」による落語会です。

○伝統芸能鑑賞会「山村流上方舞」（11月23日）有料

山村流上方舞を鑑賞します。

(4) 文化芸術活動等の拠点となる施設の管理運営事業

市民美術センター

- ① 施設利用申し込みの受け付け、使用許可、使用許可の取り消し及び設備の許可
- ② 施設使用料等の徴収、使用料の減額及び免除並びに還付
- ③ 施設設備の維持管理業務
- ④ その他施設の管理に関すること

児童文化スポーツセンター

- ① 施設観覧申し込みの受け付け、使用申し込みの受け付け、使用許可、使用許可の取り消し及び設備の許可
- ② 使用料、観覧料の徴収及び使用料の還付
- ③ 施設設備の維持管理業務
- ④ その他施設の管理に関すること

文化財施設（郷土博物館、埋蔵文化財センター、鴻池新田会所）

- ① 郷土博物館の観覧料及び閲覧料の徴収
- ② 郷土博物館の資料閲覧・貸出申請書及び観覧料・閲覧料免除申請書の受付
- ③ 郷土博物館の施設設備の維持管理業務
- ④ 埋蔵文化財センターの観覧及び閲覧や貸出の申請書の受理及び貸出業務
- ⑤ 埋蔵文化財センターの冊子代金の収納
- ⑥ 埋蔵文化財センターの施設設備の維持管理業務
- ⑦ 鴻池新田会所の使用及び観覧の受付並びに使用許可申請書の受付
- ⑧ 鴻池新田会所の使用料及び観覧料、冊子代金の収納
- ⑨ 鴻池新田会所の施設設備の維持管理業務
- ⑩ 教育委員会や市発行の刊行物の販売及び代金の納付
- ⑪ 図書・資料類の受入れ、保存整理、登録
- ⑫ 文化財に関する広報活動